



## 歯科発ヘルシーライフプロモーションと抗加齢 ～歯科的食育・生活習慣改善と健康づくりのコンセプト～

鶴見大学歯学部

臨床教授 武内博朗

国民の健康志向、抗加齢と関連した需要は急速に増加し、歯科もこうしたニーズに答えなければなりません。

歯科クリニックが担う、う蝕と歯周病のリスクコントロールや保健指導が、早期代謝性疾患ドミノ倒しの最上流の防波堤になり得ることが明らかとなってきました。

食育ブームと言われる近年、とりわけ歯科と関わりの深い内容とは、大きく分けて以下にあげる3つの分野が考えられます。

第一は、う蝕と糖質の摂取頻度の関係から、う蝕を高血糖を経由したⅡ型糖尿病へのリスクと捉えられる点です。抗加齢（アンチエイジング）の視点から見ると、う蝕は糖毒性の状態であり、血管壁を傷めてしまいます。歯のみを守るための、歯科保健指導に加え糖質代謝改善までを見据えた保健指導が必要です。

第二は、歯周病と循環器疾患の関係（血管内への細菌、LPS等抗原の侵入）が挙げられます。ひとは血管と共に老いるといわれるように、抗加齢（アンチエイジング）の実践とは血管を守る生活習慣と言い換えることもできるのです。

歯周ポケットや放置された根尖病巣からは、微量ながら毎日LPSをはじめとした炎症性物質が血管系の中へ侵入し、血管内壁に炎症を起こしてしまいます。歯科でしか対応出来ないバイオフィームコントロール（歯周治療、根管治療）が大変重要であるというゆえんです。

一方、この状態に不適切な食習慣による高LDL・高血糖、高血圧などの条件が加わると、血管内皮は更に悪い状態に陥ります。血管を守るためにはバイオフィーム除去などの歯周治療と同時に、高血糖・高脂血症の状態改善および食習慣の指導、運動の処方が不可欠です。特に、軽度歯周炎（症状のない歯周疾患）は、自覚症状がないために放置される傾向にあり、抗加齢医学の視点から私達が取り組むべき最重要課題といえます。

第三は、咀嚼機能と栄養の関係です。補綴により咀嚼機能を回復させることは、一見目的のようで実は、患者さんの栄養状態を改善し、代謝性障害を改善して健康づくりを行なうための手段なのです。歯を失った人（咀嚼機能が低下した人）は健常人と比べ、カロリー

オーバーであっても、タンパク質・ビタミン・食物繊維・ミネラルなど、あらゆる栄養素の摂取量が低下し、逆に、炭水化物の摂取量だけは増加する傾向が知られています。大規模補綴、インプラント補綴など大幅に咀嚼機能を向上させた後には、糖質偏重の食習慣を改善指導し、さらに基礎代謝をアップさせエネルギー代謝回転等の再設定までを補綴治療のユニットに出来れば、内蔵脂肪型肥満も改善され、歯科発の若々しい健康づくりが花開くことでしょう。歯科臨床に食育・生活習指導（保健指導）が有機的に加わった医療サービス再編と、新しい分野への対応が国民から期待されています。

本講演では、歯科でなければ対応出来ないバイオフィーム抑制と咀嚼機能回復、それらの予防と治療に関係の深い生活習慣改善の試みについて提示させていただきます。

## 武内博朗

昭和37年生まれ

所 属 医療法人社団武内歯科医院 理事長  
鶴見大学歯学部 臨床教授  
横浜市立大学医学部 分子生体防御学(旧・細菌学) 講座 非常勤講師  
日本大学歯学部 衛生学講座 兼任講師

### 略 歴

- 昭和62年(1987) ●日本大学歯学部 卒業
- 平成3年(1991) ●横浜市立大学医学研究科大学院 修了(医学博士)  
●横浜市立大学医学部附属病院 歯科口腔外科勤務(常勤職診療医)  
●ドイツ連邦共和国マックス・プランク研究所 免疫遺伝研究部 勤務  
(マックス・プランク財団研究職員)  
●ドイツ連邦共和国ハイデルベルク大学医学部泌尿器科学講座  
分子腫瘍研究部(ドイツ政府研究職員 BAT II a)
- 平成7年(1995)より ●横浜市立大学医学部細菌学講座 非常勤講師  
●国立予防衛生研究所口腔科学部 研究員(う蝕室)
- 平成11年(1999)より ●医療法人社団 武内歯科医院理事長  
●日本口腔衛生学会認定医  
●歯科医師臨床研修指導歯科医  
●日本抗加齢医学会専門医  
●鶴見大学歯学部 臨床教授  
●日本歯科医師会学術委員

主な著書 歯科発 ヘルシーライフプロモーション(デンタルダイヤモンド社、2011年)  
最新3DS環境 う蝕ステージ・ペリオステージ(デンタルダイヤモンド社、2009年)  
“食育”は歯科医療を変える(クインテッセンス出版、2008年)  
目的別 PMTC とオーラルケア(クインテッセンス出版、2006年)



歯科にかかわる食育・生活習慣改善アドバイスの実際  
— 疾病の予防から美しい体づくり —

神奈川県健康管理士会

理事 小林 和子

6年前より歯科医院において、食育・生活習慣アドバイスを立ち上げ現在に至りますが、その間、試行錯誤しアドバイス用の小冊子を作り上げました。

3年前より、武内先生とセミナーも行い、歯科医師・歯科衛生士さんに歯科医院での食育・生活習慣改善指導の大切さをお話しています。

本講演では、実際のアドバイス内容をどのような方を対象に、どのように行なっているか、出来るだけ解りやすくお伝えしたいと考えております。

是非皆様の歯科診療所でもこの領域を取り込んでいただき、患者さんのさらなる健康向上へのアドバイスに役立てていただきたいと思います。

小林 和子

- 神奈川県健康管理士会理事
- 2011年 NPO 法人日本成人病予防協会 認定講師
- 歯周病に伴う生活習慣病の指導のフィールドを手がけている。2006年から歯科診療所における生活習慣栄養アドバイスを立ち上げ現在月2回定期的に指導を実施している。
- 2008年より各地で歯科医師、衛生士向けにセミナーを手がける。
- 主な著書  
『“食育”は歯科医療を変える』 クインテッセンス出版2008 (共著)  
「歯科発 ヘルシーライフプロモーション」 デンタルダイヤモンド社出版2011 (共著)



## 歯科用コーンビームCTの基本性能と最新の画像診断 ～歯根膜の重要性を高精細3次元の画像から学ぶ～

日本大学歯学部特任教授

新井 嘉 則

2001年に小照射野・高解像力の歯科用CTが薬事承認を受け、2012年には健康保険に収載されました。現在多くの機種が発売されていますが、被曝線量や画質などの性能がバラバラで、発展途上にあることが指摘されています。これらについて、最新の論文を引用して講演を行います。

また、小照射野・高解像力の歯科用CTの画像からは、歯根膜腔や白線および周囲の歯槽骨の3次元的な変化を観察することが可能になりました。一方、最先端の再生医療でも、歯根膜に幹細胞の存在が明らかとなり、その重要性が再認識されました。これらの研究成果から、歯根膜は咬合圧を緩衝する機能に止まらず、歯周組織の再生の担い手として重要な機能を持つことが明らかになりました。歯周病・矯正・過負荷・インプラントなどの歯科治療において長期的な成功に導くために、その診断が重要視されています。この考えに基づき、高精細・小照射野の歯科用CT(3DX モリタ製作所)を使用して、歯根膜腔と白線のわずかな変化を的確に診断し治療するための「読像のポイント」について講演を行います。

これらの知識は、歯科用CTのみならずパノラマやデンタルの読像においても有効であるので、明日の臨床にも大変役立つものです。会員皆さんの多数のご参集を希望いたします。

新井 嘉 則

略歴：昭和34年生まれ

昭和63年 日本大学歯学部大学院卒

平成16年 松本歯科大学大学院 硬組織疾患制御再建学講座 教授

平成17年 北千住ラジスト歯科 i-view 画像センター開設

(<http://homepage2.nifty.com/radist-ks/>)

平成19年 松本歯科大学 客員教授

平成20年 日本大学歯学部 特任教授

役職：日本歯科放射線学会指導医・専門医・理事

日本口腔インプラント学会基礎系指導医

賞：平成13年 日本歯科放射線学会特別賞

平成15年 科学技術政策担当大臣賞

平成19年 文部科学大臣発明奨励

著書：歯科用コーンビームCT 徹底活用ガイド クインテッセンス 2008

15ステップで活用しよう 歯科用CTの完全活用 医歯薬出版 2009

症例でみる歯科用CTの三次元診断 ―ここが読像のポイントだ！― 砂書房2012



## 「マイナス1歳」からはじめるむし歯予防 —キシリトールの活用による口腔健康へのアプローチ—

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 小児歯科学分野

仲井 雪絵

日本の子どもたちの齲蝕発症は年々減少傾向を示しています。平成16年度学校保健統計調査の結果によると、5歳児の齲蝕有病者率は56.92%、12歳児の齲蝕有病者率と一人平均DMF歯数は、それぞれ60.97%、1.91本でした。その一方で、通常の歯面清掃、食事指導そしてフッ化物塗布だけでは予防が困難なケースが存在するのも事実です。

また、最近ではインターネット等メディアの普及により、一般の人々がフッ化物やキシリトールなどの製品に関する情報を容易にかつ迅速に得られることとなりました。私たちは歯科医療あるいは歯科保健に従事する者として正しい情報を吟味し供給するために、私たち自身の予防歯科の知識を常に更新するための努力が不可欠です。さらに、定期健診で多くの患者(患児)が長期間にわたり来院していただくためには、「最小限の努力」で「最大の効果」をあげるような齲蝕予防対策を講じる必要があります。

近年は齲蝕学の研究が進むとともに、診断技術の進歩によって齲蝕発症前のリスク診断が可能になりました。齲蝕という不可逆的疾患において可逆的なプロセスに対応できるようになったのは、まさに歯科臨床にとって大きな変革でした。

小児齲蝕の発現機序の始まりは、その原因菌であるミュータンスレンサ球菌が口腔内へ感染する過程です。その母子伝播予防のために妊娠期から母親の口腔ケアを実施することは“プライマリー・プライマリー・プリベンション”と呼ばれ、現在の小児齲蝕予防の最先端ストラテジーと考えられています。

今回のセミナーでは、齲蝕のプロセスを再考した上でMSの母子伝播予防の基本と応用について述べ、さらに演者が妊婦さん達に対してキシリトールを用いて実施したプロジェクトをご紹介します。

### 【略歴】

氏名：仲井 雪絵 (なかい ゆきえ)

学歴：1992年3月 岡山大学歯学部 卒業

1992年4月 岡山大学大学院歯学研究科(小児歯科学専攻) 入学

1996年3月 岡山大学大学院歯学研究科(小児歯科学専攻) 修了

学位：1996年3月 博士(歯学)

免許および資格：

1992年 6月 歯科医籍登録

2000年11月 日本小児歯科学会認定医

2006年 9月 日本小児歯科学会認定 小児歯科専門医

2008年 3月 日本小児歯科学会認定 小児歯科専門医・指導医

職歴：1996年 4月 岡山大学歯学部 助手

1997年～2000年

ワシントン大学歯学部（小児歯科学講座と歯科公衆衛生学講座 兼任）  
客員助手

2000年 6月 岡山大学歯学部 助手

2001年 4月 岡山大学大学院医歯学総合研究科（行動小児歯科学分野）助手

2005年 4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（行動小児歯科学分野）助手  
および 岡山大学医学部・歯学部附属病院小児歯科 講師

2007年 4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（行動小児歯科学分野）助教  
および 岡山大学病院小児歯科 講師

現在に至る

所属学会：

日本小児歯科学会，米国小児歯科学会，国際歯科研究学会，日本歯科医学教育学会，  
日本障害者歯科学会

主たる著書：

- ・ラクに楽しく成果が出せるキシリトールの理論と実践「マイナス1歳」からはじめるむし歯予防 出版：(株)オーラルケア、2011年4月1日発刊
- ・特別講演会『マイナス1歳からはじめるむし歯予防』の実践【DVD】 出版：(株)オーラルケア、2012年4月発売
- ・マイナス1歳からはじめるむし歯予防～ママになる前からできること～ 出版：(株)オーラルケア、2012年6月20日発刊

## 再考察！機能と審美を両立された 歯科治療へのトータルアプローチ ～若手4人からの提案～

座長 愛知県歯科医師会 小野寺 良 修  
愛知県歯科技工士会 鬼頭寛之・近藤悠司  
鈴木宏輔・三浦大輔

審美性に優れ長期的予後を目標とした補綴物を製作する際には、色調 (Color)、形態 (Morphology) はもとより、もちろん機能 (Function) や生体親和性 (Biology) にも十分に配慮する必要がある。その中でも機能とは多様であり、切断・粉碎のような消化機能の機械的な面での働きに加えて、口腔内の保湿、咬合高径による気道の確保、発音や会話あるいは顔貌との調和などの審美的な面も機能と言える。また、これらの機能を果たすためには、口腔内の状態を正確に模型へ再現を行うことが重要である。特にインプラント症例などにおいてはインデックス模型を用いることにより緻密な適合精度が得られる。

生体親和性においては、マテリアルセレクションというのも長期的予後を目標とする上で重要なポイントとなる。近年歯科業界における CAD/CAM システムも飛躍的に進歩しており各種マテリアルをも選択できる様になった。その中でもファイナルレストレーションにおいては CAD/CAM システムを用いてコーピングを機械的に削りだす方法。または手作業によってワックスアップし埋没、鋳造をしてコーピングを製作する2手法から選択できるのは唯一 Co-Cr 合金のみである。それだけ Co-Cr 合金焼き付けポーセレンの国内での需要が高まっていることが想像するに容易である。理由として、近年の貴金属系ポーセレン焼き付け金属価格の高騰が挙げられる。Co-Cr 合金のポーセレン焼付け合金はドイツをはじめとするヨーロッパでは以前から採用されており、日本国内においても4年程前から増加傾向である。ジルコニアレストレーション (PFZ) においては、日本国内の薬事が認可されて早いもので7年が経過する。従来の審美性の高い補綴物と比較しても PFZ はいまや審美性の高い補綴物が獲得しやすいのはもちろんのこと、口腔内での補綴物生存率が PFM 同等、もしくはそれ以上の安心感があるマテリアルと考える。

今回の講演では歯科医師の小野寺先生を座長としてお迎えし、これらのテーマをもとに機能と審美を両立させた補綴に関するトータルアプローチとして中部地区若手歯科技工士4人からポイントを絞って提案させていただきます。



### 小野寺 良 修

1984 岐阜歯科大学（現朝日大学歯学部）卒業  
1988 小野寺歯科医院開院 現在に至る  
日本口腔インプラント学会会員  
臨床歯周病学会会員  
顎咬合学会会員  
インプラントを考える会主宰



### 鬼 頭 寛 之

2001 名古屋デンタル技工士学院 卒業  
2003 大阪セラミックトレーニングセンター 卒業  
2003 (株)カस्पデンタルサプライ/カナレテクニカルセンター入社  
2012 CURA ESTHETIC DENTAL CENTER 開業  
愛知県歯科技工士会会員 瑞穂支部所属  
スタディーグループ Ziel NAGOYA 所属  
日技認定講師



### 鈴 木 宏 輔

1998 東海歯科医療専門学校 卒業  
1999 早稲田セラミックトレーニングセンター 卒業  
1999 エステティックデンタルデザイン 入社  
2000 (株)サンデンタルラボラトリー 入社  
2002 SOL DENTA gmbh (Germany)入社  
2006 (株)サンデンタルラボラトリー 入社  
愛知県歯科技工士会会員 瑞穂支部所属  
スタディーグループ Ziel NAGOYA 所属  
日技認定講師  
(社)日本口腔インプラント学会 認定専門歯科技工士



### 三 浦 大 輔

1999 東海歯科医療専門学校 卒業  
1999 (株)浅井歯科技研 入社  
2005 小野寺歯科 入社  
愛知県歯科技工士会会員 瑞穂支部所属  
スタディーグループ Ziel NAGOYA 所属  
日技認定講師



### 近 藤 悠 司

1997 名古屋歯科医療専門学校 卒業  
1997 (有)クラフト 入社  
2005 小野寺歯科 入社  
2007 (株)浅井歯科技研 入社  
愛知県歯科技工士会会員 瑞穂支部所属  
スタディーグループ Ziel NAGOYA 所属  
日技認定講師  
(社)日本口腔インプラント学会 認定専門歯科技工士



## ①13:30~14:30 株式会社アイディエス

## インプラント上部構造に、メタルボンド用コバルト-クロム合金は使えるか。

大阪大学大学院歯学研究科名誉教授・株式会社アイディエス技術顧問 高橋 純造

これまで、陶材焼付用合金として金合金、ニッケル-クロム合金、パラジウム合金が使われてきましたが、貴金属高騰の影響、金属アレルギーの心配から、ジルコニアを中心とするクラウンブリッジ用材料がCAD/CAMとともに急速に注目されています。しかし、ジルコニアの場合、築盛陶材の低い焼き付き強さ・チッピングやフレームの精度の問題のため、最近、メタルボンド用コバルト-クロム合金が脚光を浴びており、コバルト-クロム合金は、従来からのメタルボンド技術やろう付け技術を駆使すれば、ブローパイプ製造でも対応が可能です。

また金属アレルギーの面からみても、ニッケル-クロム合金と異なり、口腔内のコバルト-クロム合金の金属アレルギー報告は極めて少なく、その報告例は生体親和性が良いことで知られるチタンよりも少ないほどです。

講演では、コバルト-クロム合金の耐食性、生体親和性(金属アレルギーなど)、機械的性質、物理的性質、陶材焼付性などを、これまでの文献や実験結果にもとづいて解説します。また、その歯科技工も、①高融点である、②酸化しやすい、③ casting 収縮が大きいというコバルト-クロム合金の特徴を、十分認識すれば casting・ろう付け、陶材焼成もむずかしくはないこと、そして casting 以外でも、レーザーシタリングやCAD/CAM 切削加工によるコバルト-クロム合金を使ったインプラント上部構造用製作技術が進歩している現状を解説します。

## ②14:30~15:30 株式会社セルフメディカル

## 衛生的な治療水環境で歯科界が変わる！

株式会社セルフメディカル 小川真太郎

現在、我が国における歯科治療水の水質に関しては何の基準もなく、ほとんどの医院において、漫然と多量の細菌に汚染された水で治療を行っているのが現実です。

はたして、日本の歯科治療水環境はこのままで本当に良いのでしょうか？

『The LANCET』誌に、海外での歯科治療水による細菌感染が原因の死亡例報告があります。対岸の火事でやり過ぎて良い事例ではありません。より一層の危機感を持って対応にあたる必要があると考えます。

1960年代から指摘されてきたユニットの細菌汚染。現在は細菌繁殖の原因やバイオフィルムの形成プロセスも明確になっており、新品のユニットも、わずか数か月で治療水から多量の菌が検出されています。

本セミナーでは、歯科治療水の細菌汚染の原因とプロセスを説明し、その対策として『POSEIDON』システムを紹介いたします。

『POSEIDON』は水道水の残留塩素を補正し、ユニット給水ラインを常時、衛生的に保つシステムで全てのユニットに対応可能であり、人体やユニットにも無害の為、現在、複数の研究機関やユニットメーカーの協力のもと、既にビルトインされたユニットも発表されるなど、新しい段階に入っています。

歯科治療に欠かせない水。全ての人々が安心して治療できる衛生的治療水環境は、歯科界に大きなインベーションを巻き起こします。

## ③15:30~16:30 株式会社東京技研

## 外来環境整備にみる望まれる歯科医院への提案

— もっと設備を活用しよう —

(社)東京都歯科医師会理事・(社)日本歯科医師会地域保健委員会委員・

東京歯科大学非常勤講師・高野歯科医医院 高野 直久

最近の歯科医療機関の増加や、特定の地域における偏在は、数でこそ地域医療に貢献するよう見られがちであるが、地域医療の最前線に立つ開業歯科医による歯科医療提供体制において、残念ながら内情はことのほか、医療資源が十分であり、かつ十二分に活用されているとはとてもいえない状況である。このことは、医療提供側にしろ、受療側にしろ、安価でも無い、高額といえるような設備を歯科医療機関が用意しながら、適切な歯科医療を十分に提供できていない事は、経済的にも誠にもったいない話であり、また、社会的にも不幸な状況である。そこで、今回の企画講演では、外来環境体制加算(外来環)の施設基準などにおいて要求される設備整備から見えてくることは、国民に対する安全で安心できる歯科医療における提供体制の環境整備ならびに診療の体制づくりであることであるので、施設基準を鑑みて、要求されている内容、レベルを解説しながら、本来の歯科医療のシステムを構築するためにも役立つとされる視点でもある、市民から選ばれる歯科医院で満足するのでは無く、より多くの地域住民から望まれる歯科医院へと変貌するには、私たち開業歯科医が、まず、自ら発想の転換が必要であることを理解して頂き、諸先生方がすでにお持ちの設備、とりわけ機器・器具などをもっと活用すべきであることを認識して頂き、明日からの診療について、具体的な提案を行う場とする予定である。

## ④16:30～17:30 株式会社松風

## 口中のバイオフィルムを減らすには？

～ 洗口液は本当に有効なのか？ ～

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社コンシューマーカンパニー  
プロフェッショナルマーケティング部マネージャー薬剤師 井手 明美

今やデンタルプラークは、「バイオフィルム」であるという概念が歯科界においても定着した。バイオフィルムの除去には、スクレーリングを始めとする機械的除去が基本であるが、磨き残しや歯面以外（舌上や咽頭粘膜など）にも付着するバイオフィルムに対して、口腔全体を殺菌する科学的プラークコントロールの併用が有効である。しかし、菌体外多糖の構造をもつバイオフィルムは、表層の膜に浸透しにくいために、拡散して殺菌効果が発揮できない抗菌剤が多いという研究報告がなされている。また、洗口剤は短時間しかバイオフィルムに接触しないため、殺菌力ではなく浸透と拡散性能が重要な要素となってくる。

今回は、特に「浸透・拡散」の観点から、洗口剤のバイオフィルムに対する効果について、研究発表された文献やデータを紹介します。

## ⑤17:30～18:30 株式会社ヨシダ

## 日常臨床での歯科用CTの活用法

— 医院にCTを導入して変わったこと —

愛知県岡崎市開業 加藤 賢吾

近年、急速に普及しつつある歯科用CTは、医科用CTを凌ぐ高解像度で低被曝の三次元画像診断装置として進化を遂げ、歯科診療に大きな変革をもたらそうとしております。

当初は主にインプラント治療における画期的な診断機器として活用され始めましたが、現在はインプラント治療に限らず、ペリオ／エンド／顎関節／外科及び一般臨床への応用が進んでおります。また、診断後に患者へ説明する際にもCT画像による3Dプレゼンは患者の理解度とモチベーションを高め、圧倒的な威力を発揮します。

今回は日常的に遭遇しやすいケースを中心に、最先端の歯科用CT診断の実際をご紹介します。

## ①10:00~11:00 株式会社セキムラ

## 歯科外来環境加算について

坂入 雅章

## 【歯科の外来診療においては】

誤嚥等のおそれのある小さな治療器具等が多用されていること、局所麻酔を行う事例が多いこと、高齢社会の進展等に伴い全身状態の把握・管理が必要な患者が増加していること、抜歯や小手術等観血的処置を行う機会が多いこと等の特性を有することを踏まえ、患者にとってより安全で安心できる歯科医療の環境整備を図る観点から、平成20年4月の診療報酬改定において、「歯科外来診療環境体制加算」が新設されました。(中医協 総一2-5より抜粋)

上記新設から4年を経て、今年平成24年4月の改定において再診時に2点が新設されました。(初診は28点)

今回の改定にあたり、新たに歯科外来環境体制を整えたいという施設も増えて参りましたが、設備はほぼ揃っているもののその煩雑さから申請を躊躇されている医院様や、どのような器材を揃えたらよいか判らないという声も多いようです。今回は申請の仕方、それに関わる問題等を具体的に説明させていただきます。

- (1) 申請に伴う、外来環境体制加算施設基準の届出用紙を用いて実例を入れ、記載法の問題点等をご説明致します。
- (2) 外来環境体制加算の届け出に必要な器材(最低限認められると思われるエントリーモデルからアドバンスモデル)の選択、確認出来た範囲ではありますが、(地域の)厚生局の特徴や見解も取り入れてご説明致します。

## ②12:00~13:00 スリーエムヘルスケア株式会社

## 患者にも術者にも優しいMI臨床

## — 新材料の特性を活かしワンランク上の治療を目指す —

北名古屋市開業 須崎 明

「患者に優しいMI臨床」それは歯質の侵襲を最小限にしつつ、それが長期にわたり安定した結果をもたらすものでなくてはなりません。一方、術者にとっては、その臨床がかえって術式を困難にし、良好な結果を得られにくくする場合があります。すなわちMI臨床を優先し窩洞をダウンサイジングしすぎると、感染歯質を取り残しやすくなるだけでなく、多様化する被着体への接着処理が困難となるのです。しかし、最近ではMI臨床を効率的に行うことができる診断機器や切削機器そしてCRの填塞を容易にする周辺機器が充実してきました。さらには新しいコンセプトのもとに開発されたCR修復材料も充実してきました。まさに「術者にも優しいMI臨床」が効率的かつ効果的に可能となった時代が到来したといえるのではないのでしょうか。

そこで今回は「患者にも術者にも優しいMI臨床」を実現するにあたり、ここだけは押えておきたい勘所と新材料スッチボンドTM ユニバーサル アドヒーズブの特性を活かしたワンランク上の治療を目指すための秘訣について臨床例を交えてお話しさせていただきます。

本講演が皆様の明日からの「患者にも術者にも優しいMI臨床」の一助となれば幸いです。

ぱんだ歯科 (愛知県北名古屋市開業) 須崎 明

ご略歴

平成8年3月 愛知学院大学歯学部歯学科卒業  
平成14年4月 愛知学院大学歯学部保存修復学(旧 歯科保存学第一)講座 講師  
平成15年9月 モンゴル国立健康科学大学(旧 モンゴル国立医科大学)客員助教授  
平成17年3月 愛知学院大学歯学部保存修復学(旧 歯科保存学第一)講座 非常勤講師  
平成17年4月 ユマニテク歯科製菓専門学校(旧 名古屋ユマニテク歯科医療専門学校) 非常勤講師  
平成17年4月 ぱんだ歯科 院長  
平成17年5月 東海歯科医療専門学校 非常勤講師  
現在に至る

## 愛知県歯科医学大会 ワークショップ

**(社)愛知県歯科医師会**

- 「外来環」コーナー
- 「骨粗しょう症」コーナー
- 「日歯生涯研修ライブラリー」DVD映写コーナー
- 「学校歯科保健」コーナー
- 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度（マウスガード）」更新用単位取得コーナー

**(社)愛知県歯科技工士会**

- 「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」
- 「(社)愛知県歯科技工士会学術大会テクニカルコンテスト・カービングコンテスト優秀作品展示」

**(公)愛知県歯科衛生士会**

第7回 (公)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

**東海歯科用品商協同組合企画講演**

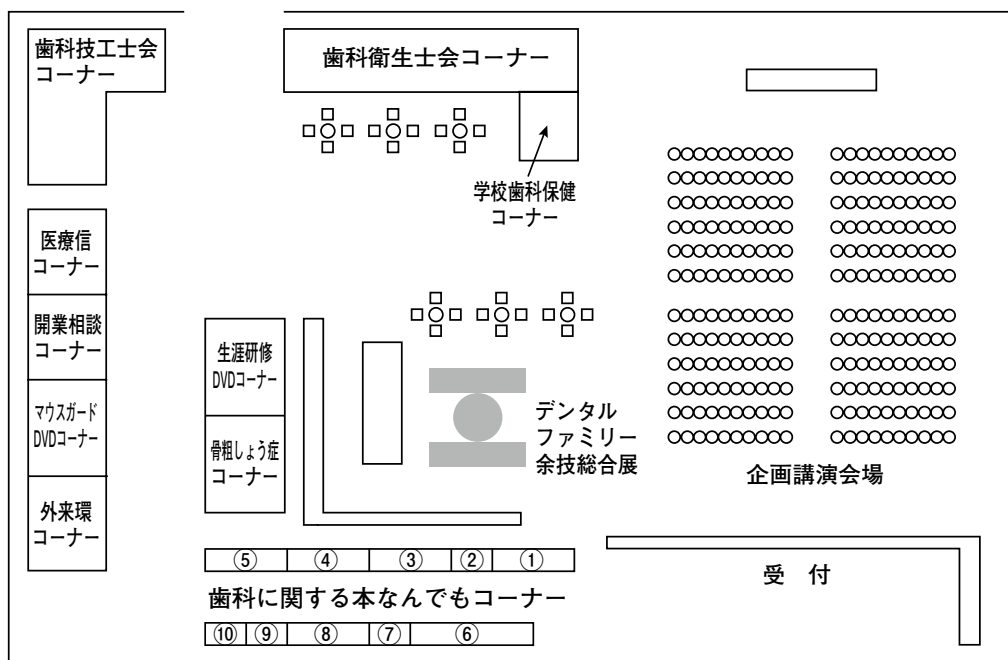
- 13：30 ①(株)アイディエス「インプラント上部構造に、メタルボンド用コバルト-クロム合金は使えるか。」
- 14：30 ②(株)セルフメディカル「衛生的な治療水環境で歯科界が変わる！」
- 15：30 ③(株)東京技研「外来環設備整備にみる望まれる歯科医院への提案 —もっと設備を活用しよう—」
- 16：30 ④(株)松風「口中のバイオフィルムを減らすには？～洗口液は本当に有効なのか？～」
- 17：30 ⑤(株)ヨシダ「日常臨床での歯科用CTの活用法 —医院にCTを導入して変わったこと—」

**中部日本デンタルショー**

「歯科に関する本なんでもコーナー」

- ①医歯薬出版(株)    ②(-財)口腔保健協会    ③(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ
- ④(株)デンタルダイヤモンド社    ⑤(株)日本歯科新聞社    ⑥クインテッセンス出版(株)
- ⑦(株)永末書店    ⑧わかば出版(株)    ⑨(有)医学情報社    ⑩東京臨床出版(株)

### 配置図



## 愛知県歯科医学大会 ワークショップ

**(社)愛知県歯科医師会**

- 「外来環」コーナー
- 「骨粗しょう症」コーナー
- 「日歯生涯研修ライブラリー」DVD映写コーナー
- 「学校歯科保健」コーナー
- 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度（マウスガード）」更新用単位取得コーナー

**(社)愛知県歯科技工士会**

- 「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」
- 「(社)愛知県歯科技工士会学術大会テクニカルコンテスト・カービングコンテスト優秀作品展示」

**(公)愛知県歯科衛生士会**

第7回 (公)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

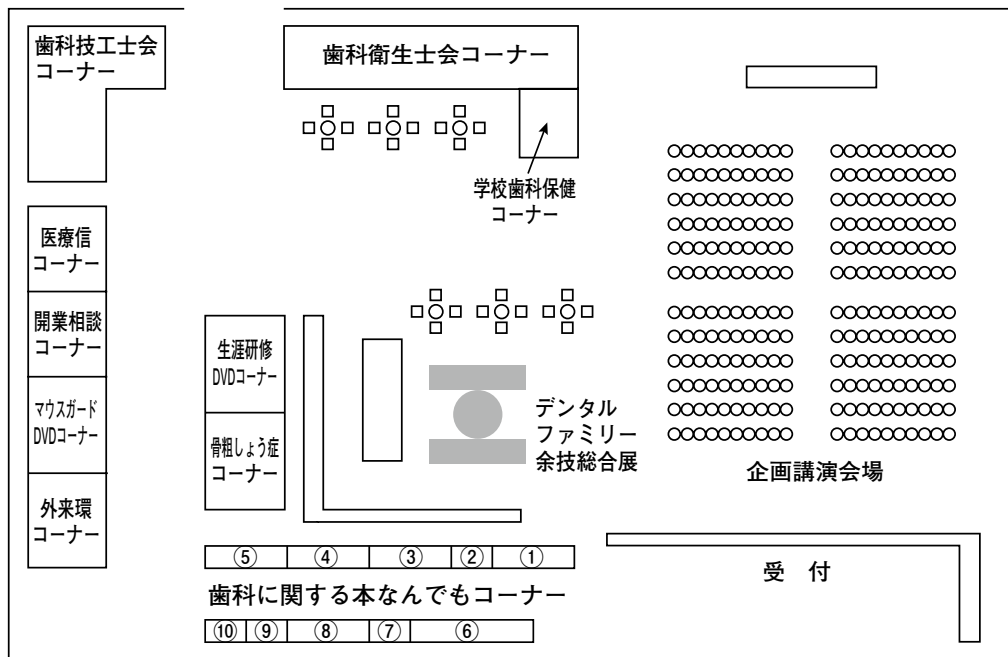
**東海歯科用品商協同組合企画講演**

- 10：00 ①(株)セキムラ「歯科外来環境加算について」
- 12：00 ②スリーエムヘルステク「患者にも術者にも優しいMI臨床—新材料の特性を活かしワンランク上の治療を目指す—」

**中部日本デンタルショー**

- 「歯科に関する本なんでもコーナー」
- ①医歯薬出版(株)    ②(-財)口腔保健協会    ③(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ
- ④(株)デンタルダイヤモンド社    ⑤(株)日本歯科新聞社    ⑥クインテッセンス出版(株)
- ⑦(株)永末書店    ⑧わかば出版(株)    ⑨(有)医学情報社    ⑩東京臨床出版(株)

### 配置図



## 「もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト」

作年度より愛知県歯科医師会食育推進委員会の取り組みとして、お口の健康と食生活の関連を認識し、よく噛んで食べる習慣の形成推進を目指すため、「よく噛んで食べるよう工夫を凝らしたオリジナルレシピ」作品を募集し、本大会で表彰並びに講演を実施しております。

【開催時間】 11:00~12:00

【プログラム】

I部 表彰式 子供向け部門 高齢者部門 地産地消部門  
総評

II部 食育講演会 「楽しい食事と口腔の健康」  
愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座 講師 森田 一三

---

MEMO

## 「外来環」コーナー

歯科外来診療体制加算、外来環は日常臨床の場で起こりうる突発的な緊急の事態に備えハード面（医院や機材）ソフト面（スタッフ）を設備する事で、患者様により安全でより良い治療を受けていただく事を目的としています。

この歯科外来診療体制加算を算定するために必要な要件の掲示又、必要となる機材の展示を行い、実際に見ていただく事で今後届け出をされる歯科医院の参考にしていただけるコーナーです。

## 「骨粗しょう症」コーナー

わが国における骨粗鬆症患者数は約1,200万人と推定されています。骨粗鬆症の80%は女性であり、50歳以降は閉経後骨粗鬆症が急増しますが、大部分の方が無自覚のまま、骨折の危険のある状態で生活しているといわれています。

近年、歯科で撮影されるパノラマX線写真は、特に50歳以降の女性における骨粗鬆症性骨折の危険を知る手段として有用であることが判ってきました。

愛知県歯科医師会の「骨粗しょう症対策医科歯科連携事業」は、愛知県行政から補助金事業の指定を受けており、特に骨粗鬆症のリスクの高い女性を、医科において早期に診断いただき、骨粗鬆症による骨折を未然に防ぐためのものです。

## 「日歯生涯研修ライブラリー」DVD コーナー

日本歯科医師会にて作成した日歯生涯研修ライブラリーの放映を行います。

## 「学校歯科保健」コーナー

学校歯科保健は子どもたちの口腔保健に携わる方々の連携なくして成り立ちません。日頃かかりつけ歯科医院で子どもたちの治療・保健指導を担当していただいている方々とのコミュニケーションの場として学校歯科保健部作成の資料、ポスター、歯科衛生士作製媒体、検診用ルーペ、セルフチェックカード等を展示します。臨床のヒント・参考にしていただければ幸いです。

(社)愛知県歯科医師会学校歯科保健部

## 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度（マウスガード）」

### 更新用単位取得コーナー

マウスガード認定登録歯科医が認定登録を更新するために、2年の間に下記①～④の中から12単位以上取得し申請をすることにより更新していく制度の、②「愛知県歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修5単位」を実施いたします。

本会が企画いたしますビデオ・DVD研修は愛知県歯科医学大会のみでございますので、認定登録歯科医の方は是非お立寄り下さい。

- ①愛知県歯科医師会主催の認定登録歯科医研修会アドバンストコースの受講  
7単位（年1回、2年間で1回は受講の義務あり）
- ②愛知県歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修  
5単位（専用ブースで印もしくは参加証明書を配布いたします）
- ③マウスガード製作実績報告書の提出  
1ケースにつき2単位、3ケースを上限とする
- ④愛知県歯科医師会が認める歯科医師会主催以外の関連研修会・講習会への参加  
（参加証明書のコピーの提出） 1時間で4単位



## 第7回 (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会 「会員研究ポスター発表」

本会では、歯科衛生士の資質向上を目的とし、研修事業を充実させ、数々の情報提供を行っております。この学術大会もそのひとつであり、今回第7回を企画することができました。会員相互の研鑽の場として、また、近年の歯科衛生士業務の多様化に伴い、社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指す上で、自らの取り組みを5名が発表致します。少しでも目標を立てて、未来を見つめることができる有意義な場にしたいと思っておりますので、多くの歯科衛生士にご参加いただければ幸いです。

### 記

- 発表 2月17日(日) 10:30~11:30  
(予定のため発表時間は変更となることがあります)
- 会場 第1ファッション展示場ワークショップコーナー
- 発表者および演題(仮題)
  1. 「妊婦の口腔、喫煙、受動喫煙の状況とその意識、および脱タバコ講義の効果に関する研究」  
愛知西支部 佐藤 恵子
  2. 「介護現場の口腔ケアの普及とOJTにおける人材育成の試み」  
知多支部 後藤 百合
  3. 「当院での歯科衛生士の勤務内容」  
知多支部 藤田 恵未
  4. 「専門的口腔ケア対応人材育成研修において体験した一例について」  
名古屋支部 近藤 おりび
  5. 「県歯科衛生士会における気管吸引の実践的実習を取り入れた研修会の実施報告」  
尾張東部支部 渡邊 理沙

●要旨

1. 妊婦の口腔、喫煙、受動喫煙の状況とその意識、および脱タバコ講義の効果に関する研究

○佐藤恵子<sup>1)4)</sup> 稲垣孝司<sup>1,2,3)</sup> 長谷川純代<sup>5)</sup> 岡本敬予<sup>1)</sup> 佐藤厚子<sup>1)</sup>  
後藤君江<sup>1)</sup> 山田和代<sup>1)</sup> 原山裕子<sup>1)</sup> 高阪利美<sup>1)</sup> 向井正視<sup>1)</sup> 野口俊英<sup>2)</sup>

1) 愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 2) 愛知学院大学歯学部歯周病学講座  
3) 禁煙心理学研究会 4) 佐藤歯科医院 5) 大垣女子短期大学歯科衛生科

妊婦の喫煙に対する意識が、脱タバコ講義により有意に是正された。これにより正確な知識を啓発していくことが重要であることが示唆されたので報告する。

2. 介護現場の口腔のケアの普及とOJTにおける人材育成の試み

○後藤百合<sup>1)</sup> 池山豊子<sup>2)</sup> 小澤浩美<sup>2)</sup> 小林敦子<sup>3)</sup> 竹下裕子<sup>4)</sup> 三浦宣子<sup>5)</sup>  
三角洋美<sup>4)</sup> 三宅やよい<sup>6)</sup>

1) 知多支部 2) 愛知西支部 3) 岡崎支部 4) 豊田・三好支部 5) 三河南部支部  
6) 尾張北部支部

「介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する長寿科学総合研究事業」を3か年にわたり協力した。歯科衛生士が行ったセミナーによる介護保険事業所への口腔のケアの普及効果とOJT手法における人材育成の効果を報告する

3. 当院での歯科衛生士の勤務内容

○藤田恵未<sup>1)</sup> 角 保徳<sup>1)</sup> 渡辺 裕<sup>1)</sup> 小澤総喜<sup>1)</sup> 平織義大<sup>1)</sup> 兼原優希<sup>1)</sup>  
桐原浩輔<sup>1)</sup> 中村晃子<sup>1)</sup> 平山直美<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立長寿医療研究センター 歯科口腔外科

本年度から歯科保健に周術期口腔管理料が新設された。これに伴い歯科衛生士業務に変化が求められた。そこで4月から病院歯科に勤務した歯科衛生士の業務実績を検討し、病院歯科衛生士の役割を検討したので報告する。

4. 専門的口腔ケア対応人材育成研修において体験した一例について

○近藤おりび

専門的口腔ケア対応人材育成研修事業研修生

現在、病院歯科に勤務しているが、一般に入院患者は口腔内に問題を抱えている場合が多い。そこで、全身状態の把握、摂食・嚥下のスクリーニングなどを行い、問題を明確にし、適切な支援ができることを目標に専門的口腔ケア対応人材育成研修に臨んだ。本研修で体験した一例を発表する。

5. 県歯科衛生士会における気管吸引の実践実習を取り入れた研修会の実施報告

○渡邊理沙<sup>1)</sup> 柴田享子<sup>1)</sup> 長縄弥生<sup>1)</sup> 松井かおる<sup>1)</sup> 池山豊子<sup>1)</sup> 藤井 航<sup>2)</sup>

1) 愛知県歯科衛生士会 2) 藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム歯科

愛知県歯科衛生士会では、平成23年度に全国に先駆けてリスク管理に関する研修会を開催し、気管吸引に関する座学と実践的な実習を行ったので、受講生の気管吸引に関するアンケート調査も併せ、その概要について報告する。

注) 発表の順番は記載通りではありません。

ポスターの掲示は、歯科医学大会期間中となります。

日本歯科衛生学会第7回学術大会発表ポスターの掲示もあります

## テーブルクリニック

### 総論 現 CAD/CAM 歯科技工

愛知県歯科技工士会 緑支部 吉田 武尊

#### A はじめに

現在、数ある歯科関連の文献の何処かに必ず『CAD/CAM』という言葉が載るようになった。その中の歯科用 CAD/CAM についての詳解をすべて読み、知識を得る事が最優先であるが、その足がかりとなる様、説明したいと思う。

#### B 概要

- i 歯科用 CAD/CAM 関連用語とその解説
- ii 『3M Lava』, 『Nobel Procera JENION』を用い製作した歯科技工物の紹介

#### C まとめ

急速に浸透しつつある CAD/CAM 歯科技工であるが、現時点ではすべての歯科技工に採用される技術ではない。しかし、将来的に CAD/CAM 歯科技工は歯科技工所にとって必須条件に成り得るのではないと思われる。また、それに伴い『CAD/CAM が広まれば歯科技工士の仕事が無くなるのではないか?』といった漠然とした不安が生じる事が予見される。しかしこれは現状から未知なる方向へ変化する事への不安であり、予備知識を習得し、現時点での臨床例を見る事により今後どのように歯科用 CAD/CAM が進展してゆくのかを予見できると思う。

#### D 結論

歯科用 CAD/CAM は一朝一夕で進展している。歯科技工業に従事する限り対峙する日が必ず来る。その日に備えて情報を収集し、何処に着眼し、判断して自身の歯科技工に新たな技術として取り入れるかが大切である。

## ゴシックアーチを2回使ったスムーズに擦れる義歯の作り方

～患者さんにとって使い心地の良い義歯を目指して～

愛知県歯科技工士会 知多支部 今瀬 大輔

咬み合わせ医療会中部支部 支部長 歯科医師 古田 貴司

皆さんは自分が作った入れ歯が患者さんに心地良く使ってもらっているかどうか、気になったことはありませんか?

学校で習った既存の作り方で、技工士目線で作ったもので満足していませんか。

本当は歯科医師との共同作業で行わないと、本当によい入れ歯はできません。

日々の忙しさに流れ作業的に作ってはいませんか? 患者さん、歯科医師から色々な情報を得てチームで作製しなければ使いやすい義歯は提供できませんよ。

研磨した義歯を患者さんにお渡しして「慣れてもらうしかないです」という事は、歯科医師・歯科技工士の言い逃れではないかと思うのです。せっかく自分の作製した義歯が本当に使いこなせていなければ、作製した意味がないと思われれます。我々歯科技工士は生活のため技工をするのはもちろんですが、本来は患者さんのためだと考えます。

私が所属する「咬み合わせ医療会」では、「すべては患者さんと共に」をスローガンにしたチーム医療を目指しています。使い心地の良い義歯とは擦れる義歯です。実際に擦れる義歯を動画で見て頂けると納得できると思います。擦れる義歯を作製するには、1回目のGoAによる下顎位採得と2回目のGoAによるリマウント咬合調整が必要です。今回はその術式をご紹介します。

#### 今瀬 大輔

昭和63年 名古屋デンタル技工士学院 卒業  
平成5年 愛知県大府市にて開業  
平成22年 咬み合わせ医療会主宰 白石一男先生に師事

#### 古田 貴司

平成2年 愛知学院大学歯学部 卒業  
平成10年 咬み合わせ医療会主宰 白石一男先生に師事  
平成11年 愛知県江南市にて開業  
平成18年 咬み合わせ医療会 中部支部設立 支部長就任  
平成18年 博士(歯科)号取得

## 愛知県歯科医学大会 生涯研修事業取得可能単位数

各団体主催の講演会・ワークショップ等に参加されますと下記単位を取得することができますので、振るってご参加下さい。各内容については該当ページをご参照下さい。

### 日本歯科医師会 特別研修に該当致します。(10単位)

#### 【日本歯科医師会会員】 2月16日(土)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.26
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	
・日歯生涯研修ライブラリーDVDコーナー	2702	1単位	
・「学校歯科保健」コーナー	2804	1単位	P.27
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(マウスガード) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)	3003	1単位	
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.30
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.28
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	2609	1単位	P.20①
	2306	1単位	P.20②
	2401	1単位	P.20③
	2504	1単位	P.21④
	2304	1単位	P.21⑤
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.34
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.33

#### 2月17日(日)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「愛知県歯科医学大会特別講演」	2908	2単位	P.10~12
「愛知県歯科医師会企画講演」	2304	2単位	P.14
「愛知県歯科衛生士会企画講演」	3001	2単位	P.18
「愛知県歯科技工士会企画講演」	2699	2単位	P.16
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.26
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	
・日歯生涯研修ライブラリーDVDコーナー	2702	1単位	
・「学校歯科保健」コーナー	2804	1単位	P.27
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(マウスガード) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)	3003	1単位	
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.30
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.28
「もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト」	2804	1単位	P.25
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	2401	1単位	P.22①
	2501	1単位	P.22②
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.34
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.33

#### 【愛知県歯科技工士会会員】

愛知県歯科技工士会生涯研修(自由課題)1日5単位に該当いたします。

#### 【日本歯科衛生士会会員】

愛知県歯科衛生士会企画講演に受講された場合は、日衛の生涯研修制度に登録されます。

## 第27回デンタルファミリー余技総合展によせて



愛 歯 余 技 ク ラ ブ  
会 長 白 井 暉 二

本年も愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時にデンタルファミリー余技総合展を開催いたします。第27回目を迎えることができましたことは出展者一同の誇りでもあります。この展覧会はその名の通り、歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会、歯科助手、歯科材料商、教育機関、その他歯科関係の会員、家族、従業員の方々の余暇の作品を展覧いたします。

日本画、油彩画、水彩画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、アートフラワー、絵手紙、余技は極めて幅広いものです。小品から時間をかけた大作まで忙しい合間にこつこつと作品製作に取り組んでまいりました。これらの作品が歯科医学大会、並びに中部日本デンタルショーに華を添えることができましたら幸甚です。歯科医学大会にご参加の皆さまには是非とも余技総合展コーナーにお立ち寄り下さい。また17日(日曜日11:30~15:00)には茶席を設けますので「憩いの場」、「交流の場」としてご利用下さい。

最後に余技展の会場設営にご尽力いただきました東海歯科用品協同組合をはじめ、ご協力いただきました愛知県歯科医師会、愛知県歯科技工士会、愛知県歯科衛生士会、並びに各学校関係者の皆様にこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

